

普及活動情勢報告（令和8年2月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

農薬の適正使用に向けて ～香美地区園芸部役員会～



農薬安全使用指導の様子

1月20日、JA高知県野市支所において香美地区園芸部役員会が開催され、役員約15名が参加しました。

農業改良普及課からは、「農薬事故ゼロを目指し、生産者へ粘り強く呼びかける」というJAとの共通認識に基づき、ラベルの確認等の農薬の適正使用を指導しました。

役員からは、「農薬登録はどのような条件（露地かハウスかなど）で行われているのか」などの質問があり、今後は登録制度の背景など、より多角的な視点を取り入れた農薬適正使用の指導を行います。

農業改良普及課は、引き続き安全な農産物の生産を支援していきます。

オクラで稼ごう！ ～土長地区オクラ栽培講習会～



栽培管理について説明する
普及職員

1月26、27日、南国市でJA土長地区のオクラ部会（南国市、長岡）が合同で栽培講習会を開催し、延べ21名が参加しました。

JAからは、令和7園芸年度の振り返り等について説明があり、農業改良普及課は、今作のは種準備から換気時期までの管理のポイントとデータ活用について説明しました。

その結果、生産者3名からSAWACHIデータ共有グループ結成への賛同が得られるなど、データに基づく管理の関心が高まりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携してオクラの収量の向上に向けて取り組んでいきます。

国営ほ場の営農推進に向けた課題と対応を協議 ～国営営農推進部会～



課題と対応策を協議する
参加者

1月28日、JA土長営農経済センターで国営営農推進部会が開催され、関係機関から29名が出席しました。

会議では、工事の進捗状況や営農推進の取組実績を確認し、今後の課題と対応を協議しました。農業改良普及課は、国営ほ場での露地野菜の栽培実証等の結果を共有しました。

参加者からは、「キャベツの生産拡大が進んでいる」「機械導入を支援する」「必要な施設整備について検討する必要がある」といった意見が出され、JAや行政が生産者とともに課題に対応していくことを確認しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し国営ほ場整備を契機に新たな営農を推進します。

収量中間チェック！ ～香美地区なす部会現地検討会～



部会員に説明する
普及指導員

1月28日、JA香美地区なす部会が現地検討会を開催し、13名が参加しました。

農業改良普及課は、収量調査の中間報告や気象予報、新しい農薬について説明しました。中間報告により仕立て方の違いによる収量差などが明確になり、今後の管理を検討する良い機会となりました。

参加者からは、「新しい薬剤の効能や系統は何か？」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携して、なすの生産安定に向けて支援します。

今年はせん定控えめに！ ～香美地区スミカン部会せん定講習会～



せん定指導を行う様子

2月6日、香美地区果樹部スミカン部会がせん定講習会を開催し、部会員15名が参加しました。

農業改良普及課は、今年のせん定は、乾燥の影響を受け樹勢が弱っている樹が多いため、時期を遅らせることやせん定量を控えめにすること等を指導しました。

参加者からは、「いつもと同じように切るつもりだった」「今年は切りすぎないようにしたい」といった声が聞かれ、樹体の状況や環境に合わせてせん定量を変えることが理解されました。

農業改良普及課は、今後も引き続き安定生産に向けた取組を支援していきます。

中山間の集落営農法人の活動を学びました！ ～中土佐町「大野見長野の風」視察～



意見交換の様子

2月17日、管内の集落営農組織や組織化を検討する集落、関係機関の計8名が、中土佐町の集落営農法人「大野見長野の風」を視察しました。

農業改良普及課は、視察の企画や視察先との調整等を支援しました。設立の経緯や体制整備、ドローン防除による省力化等について学びました。また、担い手対策等の今後の課題について意見交換しました。

参加者からは、「広域で少ない戸数で組織化できている、このように仲間作りできたら地域を守っていける」といった意見が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も管内の組織化や組織の活動をサポートしていきます。